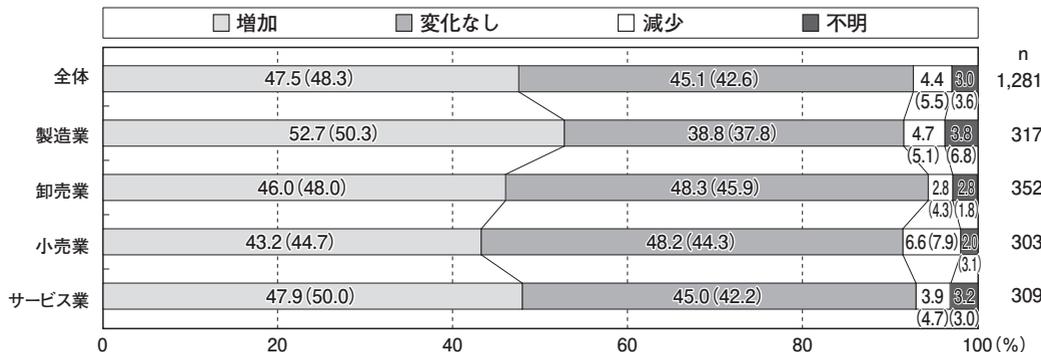


事業活動におけるコストの変動

1. コストの変化（前年同月比）

前年同月と比較した2026年（令和8年）1月の生産や販売、サービス提供に要するコストの変化を全体で見ると、「増加」が47.5%（前回調査48.3%）と最も高く、「変化なし」が45.1%（同42.6%）、「減少」が4.4%（同5.5%）の順で続いた。

図表6 コストの変化（前年同月比）



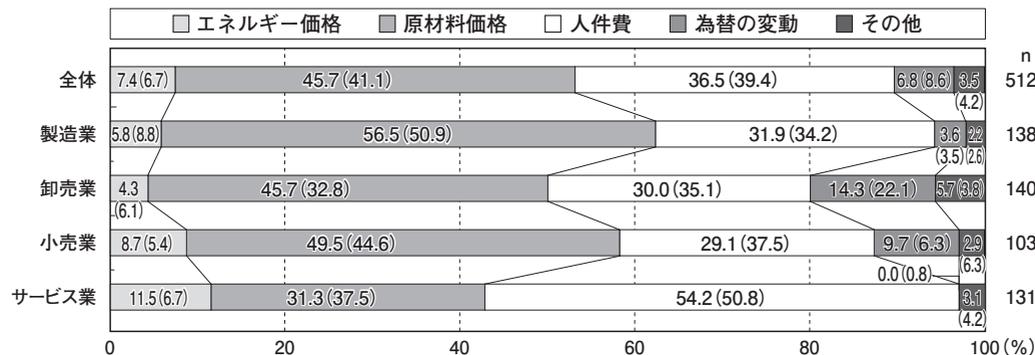
注) 無回答を除き集計。()内は前回調査（令和8年1月）の数値。
四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

2. コスト増加の最大の要因

生産や販売、サービス提供に要するコスト増加の最大の要因を全体で見ると、「原材料価格」が45.7%（前回調査41.1%）と最も高く、「人件費」が36.5%（同39.4%）、「エネルギー価格」が7.4%（同6.7%）、「為替の変動」が6.8%（同8.6%）の順で続いた。

業種別にみると、他の業種に比べて製造業は「原材料価格」の56.5%（同50.9%）、卸売業は「為替の変動」の14.3%（同22.1%）、サービス業は「エネルギー価格」の11.5%（同6.7%）と「人件費」の54.2%（同50.8%）がそれぞれ高い。

図表7 コスト増加の最大の要因



注) コストの変化（前年同月比）（図表6）で「増加」と回答した企業のうち無回答等を除き集計。
()内は前回調査（令和8年1月）の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。